

純心

Newsletter of JUNSHIN alumni association No.36



純心同窓会 会報 [令和3年12月発行 第36号]



新役員一同楽しく頑張ります。

よろしくお願ひ致します！

新役員の紹介

令和3年10月10日 江角記念館にて

新役員

- 会長 野濱 玲子(保33回卒・現福6回卒)
副会長 加藤 たか子(社22回卒)／馬場 あゆみ(高31回卒)
書紀 城谷 博子(高33回卒)／深堀 章子(現福2回卒)
会計 田北 千織(保29回卒)／松岡 智子(保41回卒)
監査 田中 啓子(保21回卒)／藤田 民子(社22回卒)

新理事

- 佐藤 久美子(高26回卒)
梅本 千賀子(社30回卒)
森寄 小百合(高33回卒)
吉村 しげの(高33回卒)
若松 和恵(保38回卒)
吉田 幸子(現福6回卒)
鹿山 誉史(現福19回卒)
古賀 健司(現福19回卒)

新会則

条項	内 容	旧会則	新会則
第8条	役員	会計1名	会計2名
純心同窓会 会則改正	第10条 役員の選任	1.選考委員会は、会員より選出し5名以上をもって構成する。	1.選考委員会は、会長が会員より選出し5名以上をもって構成する。選考委員会に会長は含まない。
	第11条 役員の任期	役員の任期は、3年とする。但し、再任を妨げない。	本部役員の任期は、3年とする。但し、原則として2期までとする。
	第13条 名誉会長	本会の名誉会長は、理事会に委嘱する。	本会の名誉会長は、理事長に委嘱する。
	第28条 付則	本会則は平成21年(2009)年5月31日より施行する。	本会則は令和3年(2021)年6月30日より施行する。

住所変更届
について

結婚、転勤、就職その他で、住所や氏名、電話番号に変更があった場合は必ず同窓会へご連絡下さい。
毎週水曜日、金曜日に(10時~14時まで)同窓会室に在室しております。

〒852-8558 長崎市三ツ山町235番地 同窓会室宛て TEL/FAX 095-846-3834

編集後記

今回、役員初めての仕事が新聞づくりでした。原稿依頼をされた方々には快く引き受け頂き、感謝の気持ちで一杯です。また、「純心」の表題は毎年原爆死没者名簿を書いて下さっている森田孝子さん(社18卒)に書いて頂きました。コロナの終息を願うとともに、また皆様と元気に会う日を楽しみにしております。次回号よりは経費削減、時代のニーズに応じたペーパレス化、コロナ禍のため封入等の集合作業が難しいとの理由で、年代を分けて新聞発送とホームページでの掲載に替えて行く方向で検討しております。ご理解のほどよろしくお願い致します。



純心同窓会 会報

第36号 令和3年12月発行

長崎純心大学
〒852-8558 長崎市三ツ山町235番地
大 学: TEL.095-846-0084
同窓会室: TEL.095-846-3834

純心中学校・純心女子高等学校
〒852-8515 長崎市文教町13番15号
中学・高校: TEL.095-844-1175
同窓会室: TEL.095-845-5419

卒業生の皆様、はじめまして。2021年4月1日より理事長に就任いたしましたシスター山田幸子と申します。前任者シスター片岡千鶴子理事長の後を引き継ぎ、身の引き締まる思いでいっぱいです。前理事長は長い任期中に様々な改革を行い、今日の純心女子学園を築いてくださいました。教育に対する献身とご努力に敬意を表しながら、「変えられないものを受け容れる心の静けさと、変えられるものを変える勇気と、その両者を見分ける英知をお与えください」と祈りつつ、微力ながら努力していく所存です。皆様のご協力と共にご指導ご鞭撻の程よろしくお願ひ申し上げます。

さて、カトリック学校の目的の一つは「生徒・学生たちが聖書に基づいた価値観を涵養しながら、一人の人間として神様から与えられた生涯を全うする」ことを支援することだと考えていました。純心女子学園の教育は創立者早坂久之助司教が準備した時から始まり、学園長シスター江角やすに受け継がれ、現在まで86年間脈々と引き継がれて参りました。紙面をおかりして設置母体である純心聖母会の純心教育推進プロジェクトが「純心教育のビジョン・ミッション」を見る形にまとめましたのでご報告させていただきます。



純心中学校
純心女子高等学校 校長
佐古 照美



純心同窓会 前会長
市山 晴子(社13回卒)

母マリアの聖歌を流し、クラスで神父様のお話や生徒代表の聖母賛歌を聞き、お祈りをしました。コロナ禍で前向きな姿勢という点では、生徒たちの発想の豊かさと実践力に感心させられています。勝っことを目指してきた大会中止の伝達があつた次の日、いつもと変わらない練習風景がそこになりました。新たな目標を立てて、スタートした姿がありましたが、自分たちの満足だけを追うのではなく、できないことをできる形に変えて、さらには、誰かを勇気づけ、喜びを与えていくとする姿を感じることができ、私たちにとっては大きな励ましとなりました。

コロナ感染症拡大によって、三密を避けること、マスクの着用、手指の消毒など、私たちの生活は変わりました。三密が避けられない学校行事の運営に行き詰りましたが、県からの指示を基本に、いくつかの前例ができてきました。今では、この現状を受け入れて、できる限りの方法でやっています。

具体的に同窓会の皆様に「聖母行列」を紹介しよう。運動場に各色に染めたおがくすを広げて作る「地模様」の代わりに、今年は、各クラスに画用紙を配り、アリア様や世界平和をイメージしたデザインを、色紙でちぎり絵として仕上げ、エントランスに掲示しました。また、行列はできませんでした。「聖母祭」と名称を変え、すべてを放送で行いました。各クラスの聖母像にユリの花を飾り、五月の聖

令和2年からは、新年早々世界がコ

ロナ禍に翻弄され、文化活動、社会経済活動が停滞せざるを得なかつた年になりました。

同窓生の皆様には、その間お変わらなくお過ごしでいらっしゃいました

りなくお過ごしでいらっしゃいました

支部だより



佐賀支部

支部長 木下秀美(社5回卒)

山々の木々が紅葉する美しい季節となりました。三ツ山は自然に恵まれ、あの大地のキャンバスで学ぶことの出来る幸せは他にはないと思います。充実した内容、そして素晴らしい先生方。卒業して六十多年余りになりますが、今でも感謝の気持ちでいっぱいです。



広島・岡山・鳥取支部

支部長 川口孝子(保19回卒)

新型コロナウイルス感染拡大による面報告で、会長、役員の総交代で一時面報告で、会長、役員の総交代で一時、他5名の役員の皆様で数時間で、お話をはずみ、楽しいひと時を過ごすことができました。時間がなくとも残念でした。

今年は楽しみにしていた総会も書面報告で、会長、役員の総交代で一時

は、どうなるかと気になりました。早速

支部役員会をし、支部役員皆様の納

得を得まして、やっと安心いたしました

次第です。前市山会長様、5名の役員

の皆様方、長年、同窓会の為に色々お

辛い日々、各地で雨の被害も多く、ひ

やひやどきどきの心配な毎日でした

が、皆様お変わりなくお過ごしでした

か。

中部支部の同窓会も2020年秋に開催予定でした。三年に一度を合

言葉に、名古屋駅や国宝犬山城そば

中部支部

支部長 山下弘子(保26回卒)

現在、同窓会総会が開催される年に報告会も兼ねて支部会を開催するよう計画していますが、コロナ禍の中、ワクチン接種が進めば来年度は支部会も開催できるのではないかと希望を持っていますがワクチン接種をした方が感染した話を聞くと、高齢の方もおられる同窓会の皆様に、安心して支部会にご参加頂ける状況は、当分の間来ないのでないかと案じています。

現在、同窓会総会が開催される年に報告会も兼ねて支部会を開催するよう計画している異常気象による豪雨災害が2018年西日本災害、2019年岡山県新見市豪雨

われます。

また、コロナ禍に加えて、広島、岡山、鳥取支部は地域的に広範囲の災害、これからの年も開催される年で、会員の方もおられる同窓会の皆様に、安心して支部会にご参加頂ける状況は、当分の間来ないのでないかと案じています。

現在、同窓会総会が開催される年に報告会も兼ねて支部会を開催するよう計画している異常気象による豪雨災害が2018年西日本災害、2019年岡山県新見市豪雨

われます。

これから3年間、このような活動を実施し、その成果を次回の支部会報告で皆様にお伝えすることができます。

支部長考えています。

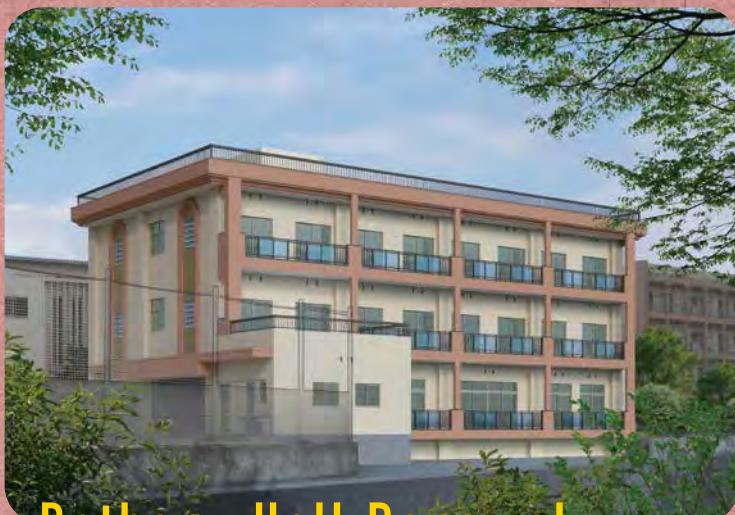
これまで考えていました。



New Uniform

夏の制服に
新しいデザインが加わりました。

「夏服は暑い」との生徒の声を受け、今までの夏服はそのままで新しい制服が加わりました。好きな組み合わせを選ぶことができます。冬型及び春秋型はそのままです。(令和3年度より)



Bethany Hall Renewal

中高の寮「ベタニア館」が新しくなります。

2021年4月から解体の工事に入り、元の場所に、3階建、全室個室(20名)の寮を建築中です。

これまでのベタニア館は、1980年8月の落成から40年間、遠方の生徒たちの共同生活の場として歴史を刻んできました。親元離れて生活し、立派に成長した卒業生をたくさん社会に送り出しました。元寮生の皆様にとられましては、思いで深い建物であったこと思います。感謝と労いの思いを込めて、工事に入っていただきました。

新しい寮も「ベタニア館」と称し、時代にあった造りと設備を整え、快適な寮生活が送れるよう配慮しています。2022年3月末に完成予定、新年度4月からのスタートになります。

学校法人 純心女子学園

ご支援のお願い

日頃より純心女子学園の教育研究活動に対し、ご理解ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。
本学園は使命を継承しながら、そして日々変化する社会に対応しながら、園児、生徒及び学生の学びと成長に資する教育を行ってまいります。
学園の学生生徒の就学支援、環境整備等のため、皆さまからのご支援をお願い申し上げます。

純心女子学園リサイクル募金

<https://lp.kishapon.com/n-junshin/>

読み終えた本・DVD・ブランド品等をご提供いただき、その査定換金額が学園に寄附される取り組みです。



純心マッチ基金

<https://www.n-junshin.ac.jp/official/support/fund/>



上記に関するお問い合わせは
純心女子学園 財務課・経理課 TEL 095-846-0084(代表)

名誉教授

長崎純心大学は大学に功績があつた4名の先生方に令和3年3月に初の名誉教授の称号が贈られました。



片岡 千鶴子 先生



塙崎 弘明 先生



松川 暢男 先生



越中 哲也 先生

しかし、残念なことに越中哲也先生は令和3年9月ご逝去されました。(99歳) ご冥福をお祈りいたします。

決算報告 平成30年度～令和2年度

◆収入

入会金	19,810,000円
利 息	94円
総会会費収入	378,000円
バザー収益金	729,419円
寄付金	105,780円
前年度繰越金	8,681,118円
雑 収 入	1,250円
合 計	29,705,661円

◆支出

入会記念品代費	2,575,112円
会誌費	2,882,802円
会議費	345,556円
通信費	1,193,227円
交通費	826,000円
支部活動費	1,568,249円
人件費	842,000円
事務費	50,306円
涉外費	407,568円
慶弔費	46,929円
備品費	1,108,504円
雑費	39,557円
総会費	1,552,588円
バザー費	482,086円
助成金費	64,000円
行事費	153,000円
光熱費	5,165円
マグダレナ基金	7,382,945円
小計	21,525,594円
次年度繰越金	8,180,067円
合計	29,705,661円

◆次年度繰越金(収入－支出)

収入	29,705,661円
支出	△21,525,594円

次年度繰越金 8,180,067円

マグダレナ基金決算報告

平成30年度～令和2年度

◆収入

前年度繰越金	4,261,025円
利 息	123円
一般会計より	7,382,945円
合 計	11,644,093円

◆支出

大 学 へ	3,100,000円
高 校 へ	1,940,000円
合 計	5,040,000円

◆次年度繰越金(収入－支出)

収入	11,644,093円
支出	△5,040,000円

次年度繰越金 6,604,093円

今後はホームページにも
会報や活動内容を掲載していきます。

学校法人 純心女子学園同窓会ホームページはこちらから→

